

オリーブの会 10月のご報告

9名の方に参加していただき、「オリーブの会」を開催しました。座談会で話された内容は以下のとおりです。

- ・毎日、朝夕、庭の水まきをしていると小学生や、中学生は、きちんと挨拶を返してくれて気持ちが良い。
- ・災害時、高齢者には情報が入りにくいため、避難が遅れるのではないかと心配になる。現在は、地区の集まりもコロナの影響もありできないため、情報収集も難しい。
- ・100年前にチフスが流行ったときも今のような状況だったと言われているが、人間の心は変わっていない。人への思いやりがなくなってきているようで悲しい。
- ・有料老人ホームを探しており、妻が夜間徘徊すると伝えたところ、断られることが多い。1か所受け入れできると言われたが、夜間帯は、一人で夜勤されると聞いて対応できるか不安になった。
⇒有料老人ホームの契約書はしっかりと確認するように助言した。
- ・避難所の開設時期について、1か所ずつ開けるのではなく、同時に開けてほしい。子供や高齢者は遠くまで行くことが負担になっている。



オリーブの会 11月 ご案内

と き：令和2年11月19日（木）10時～11時

ところ：八代市第2地域包括支援センター

内 容：座談会

問い合わせ先：30-8071

